

# 第3回 オンライン小学生英語 プレゼンテーション コンテスト 審査結果発表

第3回テーマ

海外の人に紹介したい  
わたしの大切なもの

主催 株式会社ボーダーリンク

協賛 株式会社レアジョブ 株式会社プロンテスト

(株)ボーダーリンクはこの度、第3回オンライン小学生英語プレゼンテーションコンテストを開催しました。「グローバル社会でさまざまなバックグラウンドをもつ人々との共存共生のために必要な生きる力」を育むために、国籍や海外滞在歴等による参加者のカテゴリー分けをせずに毎年実施しています。

全国より多くの小学生が参加し、テーマ「海外の人に紹介したい わたしの大切なもの」について熱く、独自の表現方法で紹介してくれました。特に優れたパフォーマンスをされた4名には表彰状と副賞（Amazonギフト券）が贈呈されました。

次回第4回コンテストは2026年に開催予定です。

## 最優秀賞

Y. Y. さん（横浜市立幸ヶ谷小学校5年）  
わたしの大切なもの 「とんぼ玉」

### 【審査員評】

大切にしている「とんぼ玉」や「ほたる玉」について紹介してくれました。明るく、自信にあふれたプレゼンテーションに審査員一同引き込まれました。聞き手によく見えるように、アクセサリをカメラに近づける配慮もよかったです。



### スピーチコンテストに参加した理由

保護者が英語をアウトプットする場を探して本人に勧めました。

### スピーチを行う上で心掛けたこと

自分の好きな物で、海外の人に喜んで貰えるのは何か考えて、とんぼ玉の歴史などについて調べました。それを英語に直して、覚えるまで練習しました。

### これから英語を使ってやってみたいこと

これからも英語を勉強して、色んな国の人と話してみたいです。



2025年度 最優秀賞動画（一般公開中）

<https://vimeo.com/showcase/12010386?fl=so&fe=fs>

## 優 秀 賞

立野 拓也さん

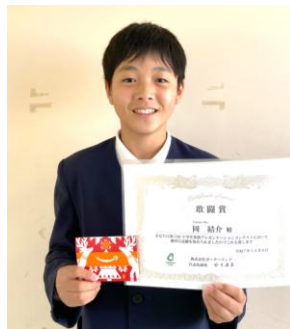
(大阪市立南住吉小学校5年)  
わたしの大切なもの「剣道」



## 敢 闘 賞

岡 結介さん

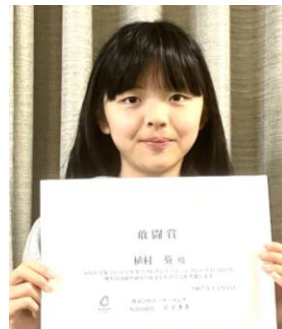
(葛城市立富麻小学校6年)  
わたしの大切なもの「ペットの力エル」



## 敢 闘 賞

植村 葵さん

(大阪市立真田山小学校5年)  
わたしの大切なもの「おにぎり」



## 講 評

狩野 晶子

上智大学短期大学部 英語科教授  
英語授業研究学会 理事、日本児童英語教育学会 (JASTEC) 理事  
英語教育ユニバーサルデザイン研究学会 (AUDELL) 理事



今回の英語プレゼンテーションコンテストには、全国から多くの応募ビデオの力作が寄せられました。このコンテストが回を重ねるごとに周知され裾野を広げていることがとても嬉しく、英語でのプレゼンテーションという大きな課題に挑む小学生たちがこれほどたくさんいることを頼もしく思いながら、最終審査の様子を見させていただきました。

今回の審査の過程では、小学校での英語教育の広がりや深まりと実感するとともに、プレゼンテーションを通じて「伝える力」を育てることの大切さをあらためて感じました。

年々最終審査に残るプレゼンテーションのレベルが上がっている中、今回のプレゼンテーションでは、とくにスライドに限らない多様な視覚補助素材、すなわちvisual aidsの工夫が目立ちました。ビデオカメラ自体は固定で、ズームなどの効果も使うことはできない中、提示するイラストや文字の見やすさを意識したり、パネルを出すタイミングを考えたり、ジェスチャーや表情をしっかり練習してうまく取り入れたり、実際の物（レリア）を効果的に使ったり、ビデオならではの遠近感を活かしてカメラに自分から近づいたり。まさにプレゼンテーションの画面全体を「ステージ」として、どう見せるかを考え抜いた作品が多くありました。こうした工夫は、まさに「プレゼンテーション」ならではの魅力です。

海外の人に伝えることを意識した構成や、自分の体験をもとに由来を調べ、データや事例を加える工夫も素晴らしかったです。「好き」を深掘りし、推したい気持ちをしっかり表現できていたプレゼンテーションは、聞き手に強く響きました。聞き手は、単語や文法の正しさやオシャレで

整った英語の言い回しなどよりも、大切に思っている気持ちや、なぜ大切なのかのエピソードのほうに心動かされます。

小学校での英語指導において、こうした「伝える力」を育てる視点が今後ますます重要になると感じています。だからこそ、プレゼンテーション（小学校外国語では「発表」）を行う際に、完璧であること、間違えないことに力点を置きすぎないように教え導いていくことの大切さも痛感します。

質疑応答では、質問に答えるだけでなく、もう一步踏み込んで自分の考えや体験を加えるとさらに魅力的なやり取りになるのにな、と残念に思うところもありました。ここで見られているのは「英語力」ではありません。「伝えたい」中身や気持ちと、「どう伝えようとするか」の工夫と熱意です。

最終選考まで残ったのはいずれもすばらしく、きっとたくさん練習したのだらうと思われるプレゼンテーションばかりでした。しかし、最後に聞き手の心に響くのは整った言葉ではなく、話し手の想いの乗った言葉です。このコンテストに応募して下さった皆さんが、ここまで努力し身に付けてきた英語をさらに世界に向けて発信できる武器とするために、「覚えて言うこと」をゴールにせず、相手に伝えたい気持ちが口から言葉を紡ぎだしてくるような自然なコミュニケーションを目指してください。

今回のコンテストを通じて皆さんが見せてくれたのは、自分の思いを英語で表現する力です。これは、将来どんな場面でも役立つ大切な力です。今日の経験を次につなげて、さらに自分らしいプレゼンテーションを目指してください。皆さんのさらなる成長を心から楽しみにしています。本当にお疲れさまでした。そして、素晴らしいプレゼンテーションをありがとうございました！

狩野 晶子



Believe in Your Possibility

「子どもたちの選択肢を増やし 将来の可能性を広げる」

株式会社ボーダーリンク

〒330-0844 埼玉県さいたま市大宮区下町2-16-1 ACROSS 8階 TEL:048-631-0230 FAX:048-642-8620